

就農準備資金・農業次世代人材投資事業  
全国型教育機関としての就農サポート体制

教育機関名： 鯉淵学園農業栄養専門学校

(1) 就農に向けた相談体制

1) 相談窓口

アグリビジネス科キャリア教育チーム、農業技術センター研修担当、就農準備資金（農業次世代人材投資資金）担当

2) 相談対応方法等

入学者によっては入学前の進路相談の段階から就農意向を把握し、適切な研修が実施できるか就農希望者と学園職員双方で確認する。あわせて就農希望者の情報を研修開始前から学内で共有する。

入学後も担任・就農サポート担当者、就農準備資金担当者による定期的な面談を実施する。

(2) 就農・定着に向けたサポート内容等

1) 就農に向けたサポート（就農先の紹介・マッチング等）

学校へ送付される求人票の紹介。学校ホームページに求人企業用の問い合わせフォームを設置し求人情報の取得に努め、学生に紹介する。全国各地の卒業生ネットワークによる情報提供を行う。

自治体・公的団体・民間で実施する就農フェア等のイベント情報を学生へ紹介し、参加人数や開催地によっては本校職員が引率する。

農業経営体派遣実習（アグリビジネス科）、農家研修（チャレンジファームスクール）は就農先を意識した実習となるよう指導するとともに、実習を委託した農業経営体との連絡を適切に行う。

農地および資金確保について、本校独自のサポート体制は有していないが、茨城県・茨城県農林振興公社等の協力を仰ぐほか、公的な資金援助制度などについて紹介する。

その他、一般的な就職の心構え・就職活動の進め方などについては「キャリア学習」などの講義でサポートする。

2) 就農後の定着に向けたサポート（地域関係者との連携・フォローアップ）

茨城県、茨城県農林振興公社等との連携を日常的に密にとり、卒業生の動向把握に努めると同時に必要に応じサポートする。水戸市、茨城町、JA 水戸などの地元自治体・団体などのほか、JA 中春別（北海道）、伊那市（長野県）、上伊那農協（長野県）、JA しまね

（島根県）など県外の自治体・団体と就農支援協定を締結しており、就農後の情報交換に努めている。

就農先の多くに農業経営体派遣実習などの実習を依頼しているので、成績評価に必要な実習評価とともに就農定着に向けた情報交換を行っている。

なお、本校と業務提携している農業生産法人（酪農）に就農した者は、日常的に本校スタッフと協働しており、技術サポートや情報交換を密に行っている

### 3）その他サポート

希望により本校が運営している農産物直売所生産者部会への加入が可能（審査あり）で、販売活動をサポートしている。